

報道関係各位

件 名 メッツァとの連携と都市回廊空間の構築について

1 概要

7月26日（メッツァビレッジ開業後257日目）、メッツァ全体の来場者数が100万人を突破したとの発表があり、引き続き、当初の想定を超える勢いで来場者が訪れています。

また、株式会社西武ホールディングスによると、飯能駅の本年4月から6月末までの定期外乗降客数は、前年同時期との比較では19万7千人増加（17.4%の増加率・西武線全線で平均2%の増加率）しているとのことで、メッツァ開業による人の流れが、具体的な数字としても表れています。

市といたしましても、メッツァ開業による人の流れをメッツァ事業者はもとより、市内事業者の皆様と更なる連携を図り、市街地をはじめ市内全体に波及させていくよう努めてまいります。

2 内容

1 メッツァの賑わいの状況について

（1）メッツァビレッジでのイベント等について

① アンブレラスカイ・プロジェクトの期間延長について

メッツァビレッジでは、6月8日から「森と、湖と、アンブレラと。」と題して約1千本の傘を使った国内最大級のイベント、アンブレラスカイ・プロジェクトが開催されています。このイベントを目当てに多くの方が来場し、SNSを中心に情報が拡散され話題となっています。このような反響により、展示期間を延長しています。



「森と、湖と、アンブレラと。」展示の様子（写真左は昼間の様子、写真右は夜間の様子）

② 新しいイベントの開催について

7月20日から9月1日までの期間で、文部科学大臣表彰科学技術賞受賞者でもあるプラネタリウム・クリエイター大平貴之氏監修による「Nordic Sky プラネタリウムスペース」が開催されています。長期イベントでは埼玉県初となる、光学式プラネタリウム投影機「MEGASTAR-II (メガスター・ツー)」を使ったイベントで、初公開となる映像を使ったオリジナルコンテンツを上映するほか、「星」にちなんだワークショップを開催しています。



MEGASTAR-II (写真左) と Nordic Sky プラネタリウムスペース周知イラスト

(2) ムーミンバレーパークでのイベント等について

① 来場者のパーク利用における利便性向上の取組について

ムーミンバレーパークは夏休み期間となる7月20日から9月1日まで、営業開始時間を通常よりも1時間早めて、9時から営業を開始しています。

また、8月22日からは「ムーミンバレーパーク入園券」を全国のローソン、ファミリーマート、ミニストップのコンビニエンスストアにおいて、各店舗の専用端末等から購入できるようになりました。この専用端末等での入園券販売開始にあたり、9月2日から9月29日までの期間に利用できる「ムーミンバレーパーク入園ペアチケット」(通常価格3千円のところ2千8百円の特別価格)が販売されることになりました。

移動手段の取組としては、お盆の期間を中心とした8月中の12日間、ムーミンバレーパークと三井アウトレットパーク入間の無料直行バス往復運行が行われ、新たな来場者の確保に取り組んでいます。

また、7月20日から9月1日まで、メッツァビレッジとムーミンバレーパークの間で小型の乗合自動車「トラム」の試験運行が実施されており、子どもから高齢者まで様々な方がメッツァ内を楽しめるよう、移動の利便性向上に向けた取組が推進されています。



試験運行されている「トラム」

② 「ムーミンの日」限定イベントについて

8月9日には、2005年から続けられている「ムーミンの日」のイベントがムーミンバレーパークにおいても開催されました。パーク内では、ムーミンの日限定の企画やワークショップ、グッズ販売が行われました。ムーミンの日は、全国のムーミンファンが来場できるように、東京や横浜のほか、大阪、京都、名古屋、仙台といった各地からの直行バスが運行され、たくさんの方が来場し、賑わいを見せました。

また、ムーミンバレーパーク「エンマの劇場」で公演されているショーの劇中歌「雲にのれたら」のダンスが公開され、“観る”だけでなく、一緒にダンスを踊り“参加する”ショーへの新しい取組が始まっています。



© Moomin Characters ™

「ムーミンの日」当日のパーク内の様子や限定グッズ等

2 市内の観光拠点とメッツアの連携について

8月1日から31日までの期間で、参加者が飯能市のスポットをめぐり、新たな飯能市の一面に出会い、飯能市のファンになっていただくことを目的に「Meets!×Hanno スタンプラリー」を開催しています。これまでの紙のスタンプ台紙を使用するスタンプラリーとは異なり、飯能市公式スマートフォンアプリ「飯能市ご当地アプリ」を活用したもので、新たな参加者層の獲得とご当地アプリダウンロード数の向上を目指したものです。

本スタンプラリーは、ソグベルク（メッツアビレッジ内）、カフェピスト（トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園内）、飯能河原エリア（割岩橋・ステージ広場掲示板・市立博物館きつとす）の3か所をラリーポイントとして設定し、都市回廊空間を中心に飯能市の魅力を感じることができる取組となっています。



スタンプラリーの周知イラストと飯能市ご当地アプリ画面

3 市内商店街等へのアンケートの実施について

メッツアオープンによる市内経済への効果の把握、中心市街地をはじめとした市内事業者との更なる連携に向けた基礎資料を得るため、飯能商工会議所との連携によりアンケートを実施しています。

このアンケートは、市内商店街や宿泊業事業者など、およそ300か所にアンケートを依頼し、「メッツア開業後の客数や客層の変化」、「今後の取組に関する意向」などをお伺いしています。

現在、駿河台大学にご協力いただき、集計・分析を進めており、今後、いただいたご意見を生かし、更なる賑わい創出へ向けた取組を進めてまいります。

担当者 地方創生推進室長 関根
連絡先 Tel 042-978-5029